



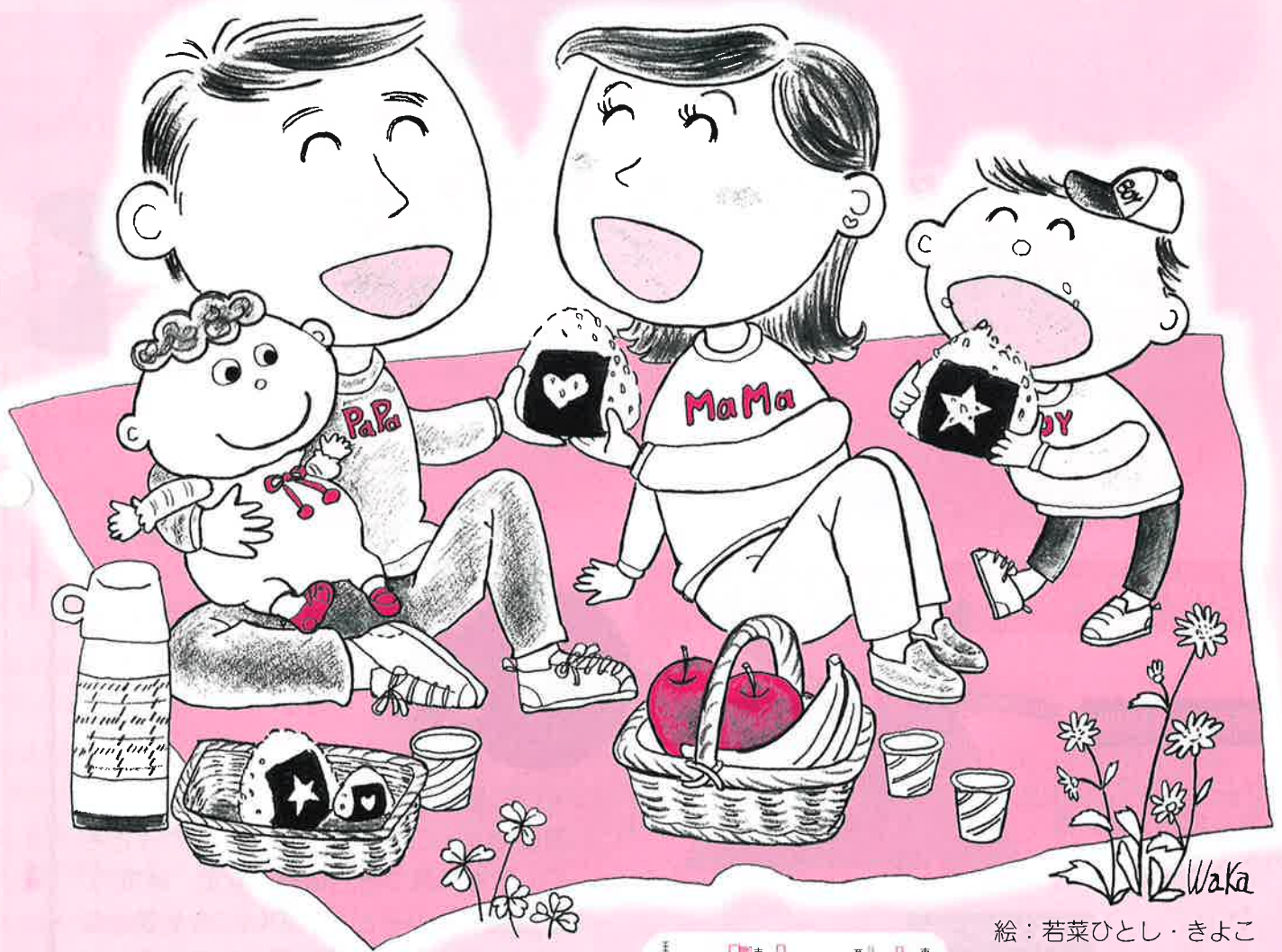
みらい

ひとひと
女と男 ともに輝く社会をめざして

特集

身近にある?! DV

— みんなで考えてみましょう —



絵：若菜ひとし・きよこ

男女共同参画推進の拠点施設
羽生市女性センター（パープル羽生）





身近にある?! DV みんなで考えてみましょう

DVってなに?

夫婦間や恋人など親密な間柄で行われる暴力をドメスティック・バイオレンス(DV)といいます。

DVの経験のある人は、3人に1人いると言われています。DVの背景には、これまでの歴史の中で築かれた女性差別を根底とした「女性は男性に従うべき」といった考え方や、束縛を愛情だとする価値観、男性優位の社会構造等があるといわれています。

身体的暴力

殴る・蹴る・平手でぶつ・髪を引っ張る・首を絞める・物を投げつける・刃物を突き付ける・突き飛ばす

精神的暴力

大声で怒鳴る・殴る振りをして脅す・ドアを蹴ったり、壁に物を投げつける・無視する・行動を監視する・「だれのおかげで食べられるんだ」と見下して言う

こんなことがDVです

性的暴力

嫌がるのに性行為を強要する・見たくないのにポルノを見せる・避妊に協力しない

経済的暴力

必要な生活費を渡さない・仕事を無理やり辞めさせて、経済的に弱い立場に立たせる

DVはこんなサイクルで行われます!

緊張の蓄積期

イライラして小言を言ったり、軽い暴力をふるう。

暴力の爆発期

怒鳴ったり、暴力をふるうなど、自分がコントロールできなくなる。

ハネムーン期

やさしくなったり、後悔したり、もう絶対しないなど約束をしたりする。



暴力を見て育つ子どもも、被害者です!

いつ暴力が始まるか、子どもはいつも不安です。このような経験をした子どもの心は深く傷つき、情緒不安定、無気力、不登校、他の子どもへのいじめや暴力など、いろいろな症状が見られると言われています。

子どもには、暴力のない環境で育つ権利があります。



なぜ逃げないの?

- ☆「悪いのは私」「私さえ我慢すれば」と自分に言い聞かせてしまう
- ☆ 経済的な不安
- ☆ 友人・知人との関係を断つことへの不安・・・など

これからのことを一緒に考える相談機関があります。

解決の一步は相談!



話してみませんか?

<相談機関>

☆羽生市女性のための相談室

(パープル羽生)

048-563-1681

048-563-5272 (直通 要予約)

毎月第1~4水曜日

午後1時~4時(要予約)

☆羽生警察(生活安全課)

048-562-0110

☆埼玉県男女共同参画推進センター

048-600-3800

月~土 午前10時~午後8時30分

※第3木曜日を除く

☆埼玉県配偶者暴力相談支援センター

(婦人相談センター)

048-863-6060

月~土 午前10時~午後8時30分

日・祝日 午前9時30分~午後5時

羽生市では「DVのない地域づくりをめざして」と題し、パープル羽生において講演会を開催しました。参加者も多く、関心の高さがうかがえました。(講師 女性相談ネット埼玉 賀谷恵美子氏)



羽生市のDVに関する相談件数は、年々増える傾向にあります。

平成22年度：38件

平成23年度：66件

平成24年度：71件



参加者アンケートより...

DV被害者の数の多さに驚いています。幸いにも自分の身近にいないので、関心はありませんでしたが、DVとは、身体的暴力だけではないことが良くわかりました。

最近DVは、身近な問題になっていて、殺人にまで発展してしまうケースがあり、関心はありました。とても、丁寧な説明で、勉強になりました。

DVをなくすために、今回のようなお話をより多くの人に聞いてもらいたいと思いました。

もっとみんなに情報が広まれば良いと思います。

男女共同参画社会の実現に向けて、女性と男性が共に人権を尊重し、個性と能力を発揮し、責任を担う社会を築いていきましょう。

みらい掲示板

大好評！今年も「男の料理教室」を開催しました！

講師・田雑のり子氏



パープル羽生では、女性も男性も性別による固定的な役割分担意識にとらわれることなく…と毎年「男の料理教室」を開催しております。

今年も6月より3回講座を行い、受講者からは、「楽しい教室でした。実際に作って、家族に喜ばれました。」「毎回参加するのが楽しみでした。」「料理が好きになった。」「料理の幅を広げたい。」などうれしいお言葉をいただきました。調理後の会食も和やかな雰囲気でした・・・♪

※この日のメニューは、ナポリタンとチキンのねぎソースかけでした！

多様な生き方に学ぶ きらめく人シリーズ 第14回

男女共同参画セミナーを開催します！

平成25年12月21日(土)午前10時～11時30分

講師 羽生市人権教育推進員

元ジャカルタ日本人学校校長 青鹿 輝雄 氏

演題 「南十字の空」



青鹿氏は、旧大利根町出身で、羽生市在住です。市内小学校等勤務の後、インドネシア・ジャカルタ日本人学校校長として3年間勤務。海外で暮らす子供たちの教育に当たられました。今後、ますます、国際化は加速していきます。世界一の群島国家インドネシアと日本との係わりを、そして、子どもたちの世界観を伺います。

- 会場 パープル羽生 多目的ホール
- 定員 80名(先着順)
- 申し込み 前日までにパープル羽生へ
電話 561-1681
- 託児 無料 ※1歳6ヶ月から未就学児(要予約)

パープルふれあい広場のご利用を！

パープル羽生では、たくさんの方々の「ふれあいの場」として、さまざまなジャンルの音楽や踊り・語りなどを取り入れて皆さんに楽しんでいただいています。お友達を誘って、お気軽にお越しください。



- ◆開催日時 毎月第2日曜日 午後1時～3時
- ◆会場 パープル羽生 多目的ホール

女性のための相談室 ～ひとりで悩まないで～

女性のさまざまな悩みの相談を女性の専門カウンセラーがお受けします。

夫・パートナーからの暴力で悩んでいるあなた。ひとりで悩まずご相談ください。秘密厳守・無料です。

- ◆日時 毎月第1～4水曜日(祝日を除く)
午後1時～4時
- ◆要予約 電話048-561-1681
(パープル羽生)
- ◆相談専用電話 048-563-5272

女性人材リスト登録者募集

市では、男女共同参画社会の実現のために市の様々な審議会などの委員になってくださる方や、ボランティア団体等の協力者、研修会講演会などの講師になってくださる方のデータベースとして、「女性人材リスト」を作成しています。男女共同参画に興味のある方、自分のキャリアや得意分野、隠れた才能を生かしたい方のご応募、ご推薦をお待ちしています。

- ◆応募対象者 20歳以上の方 希望される方は羽生市女性センター(パープル羽生) 561-1681へご連絡ください。

編集後記

男女共同参画社会基本法が制定されて14年がたちましたが、未だに男性優位の考えが残っているのではないのでしょうか？

今回、DVについて具体的に取り上げました。私たち一人ひとりが、もっと身近な問題として、考えていくことが大切であると感じました。

発行 羽生市総務部人権推進課
〒348-0053 羽生市南5-4-3
羽生市女性センター(パープル羽生)
TEL 048-561-1681 FAX 048-562-1889
企画・編集 羽生市男女共同参画情報紙編集委員
表紙題字 羽生市長 河田 晃明